



やなぎさわひろゆき
柳 沢 浩 之
(清風クラブ)

地域振興・生活困窮者支援・ 農業振興について

新幹線を活かしたまちづくりについて

問 安中榛名駅の位置付けは。

答 西毛地域の玄関口として、ふさわしいまちづくりを進めていきたいと考えています。

問 安中榛名駅の利用者数と新幹線定期での通勤者数は。

答 乗車人員は一日当たり平成十八年が二百四十五人、平成十八年が二百八十人と増加しています。定期利用者は一日当たり平成十八年が百四十五人です。

問 安中榛名駅から首都圏への通勤者の増加を図るために、新幹線定期代の補助をすべきでは。

答 安中榛名駅の利用者の増加や移住定住の促進に有効な施策として検討していきます。

問 長野駅始発列車を安中榛名駅に停車をJRに要望すべきでは。

答 首都圏への通勤が可能となり、利用者が増える可能性は認識しており、JRに要望します。

問 安中榛名駅前のコミュニティプラザ跡地の有効活用は。

答 物販を含む施設として利用してもらうことが理想と考えます。

問 安価で入居できるマンションや商業施設など誘致し、駅を中心とした周辺整備が必要では。

答 安中榛名駅前の利便性を活かして人口増加が期待できる大変有効な土地利用であると考えます。
その他、困窮者の住まいの安全対策、耕作放棄地の活用と有害鳥獣被害について質問しました。



安中榛名駅新幹線ホーム



むしやよこ子
武 者 葉 子
(公明党)

命を守り支え合うまちづくり・ 子育て支援について

心肺蘇生法について

問 突然の心肺停止から救える命を救うためには、心肺蘇生・AEDの知識と技能を体系的に普及する必要があるが、市の取り組みは。

答 平成二十六年より、職員研修として実施しています。

問 小中学校での講習会の開催は。

答 年一回が十四校、二回が三校、児童生徒が参加している小中学校も四校で実施しています。

問 地域の一般市民も利用する、小中学校のAEDの設置場所はどこか。

答 職員室に設置が十二校、職員室前の廊下に設置が三校、保健室に設置が二校です。

問 夜間や休日等に市民が利用できるようAEDを校舎外に設置し、二十四時間利用可能にしていく自治体もあるが。

答 現在のところ、これまで通り屋内で設置していきたいと考え

ます。

認知症対策について

問 伊勢崎市では、「認知症サポート」のいる店の登録事業を実施し、登録ステッカーを掲示し地域支援を行っているが、市の取り組みは。

答 平成二十年度から、延べ八十八回開催し、二千六百四人が養成講座を受講しています。公募、徘徊高齢者SOSネットワーク登録企業など、二十団体からの要請で実施しています。



AED設置風景